

令和3年度 江戸川区立南葛西第三小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	生きる力を養う ○確かな学力 ○豊かな心 ○健やかな体	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○みんなの個性が輝く学校 ○自分がされてうれしいことができる子供 ○共に高め合い、共感(共汗)し合う教員
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ○組織的学校の運営の充実 ○多様性尊重の取組の充実 <課題> ○学力向上 ○教員の授業力向上 ○働き方改革の実践的取組		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
	確かな学力の向上	・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・補習教室を年35回実施、外部委託による放課後補習教室年30回程度実施 ・東京ベネッセドリル活用と検証	・児童意識調査の学習に関する項目の数値向上 ・ベネッセドリル学年平均正答率70%以上	B	B	○補習教室14回、放課後補習教室30回(全30回)実施。学習に関する意識調査(12月実施)肯定的評価割合以上。東京ベネッセドリル全学年向上。 ●3年生以上で正答率70%を下回る結果となっている。	B	・学力向上に向けた取組が計画的に実施されている。家庭との連携により、個に応じたより一層の指導を期待する。	・タブレット端末や電子黒板等、ICT機器の活用や校内OJT研修による授業力向上及び研修学習、補習教室の充実と明るくともに、児童の学習意欲を高める工夫の計画実践を進める。
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の充実(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	・学習計画の選定及び並行読書用図書の充実 ・読書科校内OJT研修年1回及び外部講師による研修3回実施	・図書館を使った調べる学習コンクールへの参加数の増加 ・児童意識調査の読書に関する項目で数値向上	B	B	○各教科と学校図書館を連動した探究的な学習活動の実施、読書に関する児童意識調査肯定的評価77%(7月と比べ4%向上)。	B	・読書の充実及び高まりを感じる。苦手意識が高い児童への指導や配慮等、今後も取組の継続を希望する。	・読書科指導指針に基づく校内研修及び指導の充実。東葛西図書館、学校応援団(図書ボランティア)との連携強化。探究的な学習の系統性の明確化。
いきいきと学ぶ学校づくり	体力の向上	・体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・チャレンジタイム年間35回実施、長縄大会の実施、持久走記録会の実施	・児童意識調査の運動に関する項目の数値向上	B	B	○瞬発力、俊敏性を高めるチャレンジタイムを35回実施し、運動に関する意識調査で肯定的評価83%(2%)	A	・体力向上の計画的な取組の継続を今後も希望する。	・体力テストの結果分析に基づく体育授業、児童が意欲的に取り組めるチャレンジタイムの更なる工夫。
	オリパラ教育の推進	・「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実	・35時間実施、ともだちプロジェクト道徳授業を年1回実施、外部講師による授業年3回オリパラコーナー・掲示物の充実	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査でオリパラ教育に関する項目の数値向上	B	B	○前年度までに招聘したバリアフリーの出場する種目を学校や家庭でテレビ観戦、保護者アンケートでは肯定的評価8割以上。	B	・今後も取組の継続を希望する。	・系統的実践的な総合的な学習の時間、生活科を中心に「福祉」の学習と関連付けて推進を図る。
	外国語教育の推進	・授業力の向上とALTの効果的な活用	・推進リーダー中心に校内OJT研修を年1回実施、ALTとの打合せ実施	・児童意識調査の外国語教育に関する項目で肯定的評価8割以上、教員アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○ALTとの事前打合せ実施し、授業におけるALTの有効的活用。	B	・今後も取組の継続を希望する。	・研修の充実、ALTの活用等教員の主体的な指導の推進。
	健全育成に向けた取組の強化	・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・いじめ防止啓発デー(毎月)の設定、いじめ防止に特化した授業を年3回実施、いじめ防止対策委員会の設置	・児童意識調査で差別に関する項目の数値向上、保護者アンケートで肯定的評価8割以上	A	A	○いじめ防止啓発デーを毎月実施(11回)及びいじめ防止授業全校回実施(6月)により、児童意識調査、保護者アンケート肯定的評価9割以上。	A	・いじめ撲滅に向けた早期対応に取り組んでおり、今後も組織的体制の下、取組を希望する。	・いじめ防止対策委員会等校内体制の強化及び情報の共有化の徹底。
特別支援教育の充実	特別支援教育の推進	・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・SC参加の生活指導夕会の毎週開催、校内研修を年2回実施 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした個別対応会議の開催 ・個別対応ができるエンカレッジルームの計画的運営	・教員アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査で学習に関する項目の数値向上	B	B	○SCと連携した生活指導夕会37回実施。個別対応会議10回実施し、組織的共有化が図れている。特別支援教育の啓発理解を目的としたHPの立ち上げ(1学期)。児童意識調査肯定的評価84%。 SCと連携した校内研修11、2月実施。	B	・学校組織全体で児童理解に努めており、今後も取組の継続を希望する。	・特別支援教育コーディネーターを中心としたSC、心理士、関係諸機関との連携、組織的体制の更なる強化。
	インクルーシブ教育の推進	・特別支援教室とことばの教室との連携による指導の充実	・児童への理解教育を年2回実施	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査で人権に関する項目の数値向上	B	B	○児童への特別支援教室、ことばの教室理解6月、7月実施。児童意識調査及び保護者アンケート肯定的評価8割以上。	B	・特別支援教育への理解や指導が教員及び児童に図られ、今後も取組の充実を期待する。	・特別支援教室及びことばの教室と連携したインクルーシブ教育の充実及び家庭との連携の一層強化。
教員の資質向上	教員研修の充実	・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修	・ICT校内研修を年3回実施、タブレット端末を活用した研究授業年1回実施	・教員アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査で学習に関する項目の数値向上	A	A	○校内研修3回、研究授業1回(9月)実施。teamsを活用した連絡帳での情報共有。タブレットを活用したオンライン授業の実施。	B	・タブレット端末の活用に積極的に取り組んでおり、環境整備も含め、取組の継続を希望する。	・GiGAスクール構想に基づく、校内研修の充実及びICTを積極的に活用した授業の改善。
	授業力向上を目指した研修の充実	・教員の授業力向上に向けた研修	・主任教諭以上及び専門性の高い教員によるOJT研修年14回実施	・教員アンケートで肯定的評価8割以上	A	B	○授業力向上に特化したOJT研修14回実施。若手教員向け勉強会(中堅教員主導)の定期的開催。	B	・今後も取組の継続を希望する。	・若手教員育成の組織的体制の構築。
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	・「小中連携教育構想」及び児童生徒間の交流の充実	・教員間の交流会年1回実施、部活動体験や中学教員による出前授業の実施、小中必読書百選の取組	・児童意識調査の中学進学に関する項目で肯定的評価9割以上	B	B	○教員間交流を実施(6月)、情報の共有化が図れた。また、中学の学校紹介DVDを視聴(9月)した。体育大会に向けた交流活動(10月)、合唱コンクール準備(10月)実施。	B	・小中連携の交流活動が充実してきている。円滑な小中の接続を期待している。	・授業や部活動体験等、児童生徒間交流の更なる推進及び教員間の情報共有、共通理解の強化。
	多様性の尊重	・個々の違いを尊重し、差別を許さない指導の徹底及び性別、性的指向、障害などの多様性を尊重する教育活動の充実	・福祉を柱とした総合的な学習の時間の充実、ハラアリスト、地域団体等による出前授業を実施	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○ハラアリストのテレビ観戦を実施し、福祉の学習に活用。保護者アンケート肯定的評価9割以上。ハラアリスト出前授業(3～6年)2学期実施。	B	・諸機関や地域と連携を図り、効果的に取り組んでおり、今後も取組の継続を希望する。	・発達障害に応じた年間指導計画の更なる改善。
	SDGs教育の推進	・地域の歴史や特色を生かした海洋教育、環境教育の推進	・大学教授やNGO団体メンバー、地域の人材等を講師とした授業を実施	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○食育と関連した環境教育を低学年で実施(6月)、葛西臨海及び地球温暖化防止を考える学習を実施。	B	・地域に根差した教育活動に取り組んでおり、今後も取組の継続を希望する。	・総合的な学習の時間及び児童会活動における年間指導計画の更なる改善。